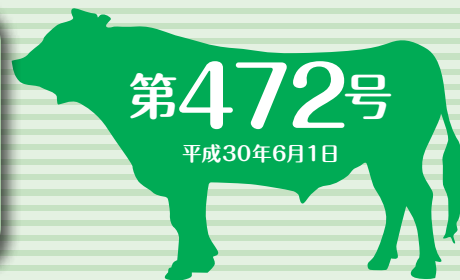


畜産茨城

第472号

平成30年6月1日



目次

「ひよこオムライス」

子ども料理教室開催される	1	茨城県立農業大学校入学生募集	9
平成30年度畜産施策方針と重点施策	2	平成30年3月市況	10
新任あいさつ	4	肉用牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況	10
平成30年度定期人事異動	5	平成30年4月市況	11
受精卵供給センターの紹介	6	新マルキン発動状況	11
乳・ちびっ子野球 イコールマッチング	8	農地中間管理機構からのお知らせ	12

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibarakiln.gr.jp>
発行人／佐野 治

「ひよこオムライス」子ども料理教室開催される



茨城県養鶏協会（鈴木憲一会長）の青年部は3月26日茨城町下土師の農産物直売所「ポケットファームどきどき」で、鶏卵を使った料理教室を開き、親子がひよこをモチーフにしたオムライス作りに挑戦しました。

本県は鶏卵生産量が日本一。たまごの消費拡大と食育の一環として初めて開きました。土浦市で「マキのパン屋」を営む藤田真紀さんが指導。茨城町、

小美玉市の小学校低学年以下の子どもと保護者がご飯をケチャップとコンソメで味付けし、ラップで丸く包んだ上、ウインナーで口を、のりで目を表現、卵焼きにケチャップで絵や文字を描きました。

子どもたちは試食し「おいしい」と笑顔、クイズコーナーでは「1日何個の卵を産みますか」「どの時間に産みますか」などの質問に元気に答えていました。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

平成30年度畜産施策方針と重点施策

茨城県農林水産部 畜産課長 根本 和彦

【現状と課題】

昨年度に引き続き、畜産課長として本県畜産の振興に全力を尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、本県の平成28年農業産出額は、4,903億円で平成20年から9年連続で全国第2位の地位を確保しております。このうち、畜産については1,257億円と、本県農業産出額の約26%を占める基幹産業となっており、県内や首都圏の消費地に畜産物を安定供給する基地として重要な役割を担っております。

一方、本県畜産を取り巻く情勢につきましては、高齢化による担い手の減少や資材価格の高騰による生産コストの増大、少子高齢化に伴う

国内市場の縮小等により厳しさを増しております。

さらに、平成29年7月には日EU・EPAが大枠合意に至ったほか、平成30年3月にはTPP11協定への署名が行われるなど、様々な国や地域との経済連携協定により急速なグローバル化の進展が見込まれる状況となっております。

こうした情勢に対応するためには、収益性の向上による生産基盤の強化やブランド力強化による本県畜産物の付加価値向上、畜産物流通の合理化など、国内はもとより海外産地にも負けないよう本県畜産の競争力を強化して必要があります。

【対応方針】

県では国内外の産地間競争に打ち勝つ「儲かる畜産業」を実現するため、「茨城農業改革の重点的取組である「畜産・水田農業の国際競争力の強化」や「いばらき畜産物ブランドアップ推進プラン」等に基づき、畜産経営の規模拡大等による収益性の向上や和牛の生産拡大、酪農経営の体質強化などの生産基盤の強化のほか、「ローズD-1」を活用した新ブランド豚肉の確立や常陸牛の更なる輸出拡大、銘柄畜産物のブランド力強化、HACCP等に対応した食肉センター整備に向けた具体的な検討を重点的に進め、本県畜産の競争力の強化を図ってまいります。

このほか、耕畜連携による飼料用米の利活用やとうもろこし等の飼料増産、水田等での放牧を活用した省力管理技術の確立と普及等により、輸入飼料に依存しない畜産経営の確立を推

進するほか、肉質等が優れたオリジナル種畜の活用による高付加価値化を推進いたします。

また、食の安全・安心の確保や畜産経営の安定化を図るため、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の家畜伝染病に対する徹底した防疫対策を講じます。さらに、持続可能な畜産経営の確立や東京オリンピック・パラリンピックへの県内産畜産物の食材提供などに向けて、GAP取得チャレンジシステムやJGAP認証といった日本版畜産GAPの取り組み拡大を推進して参ります。

このほか、地域と調和した畜産経営の確立に向けた臭気低減対策や輸出も含めた堆肥の新たな流通ルートの開拓を進めるとともに、家畜排せつ物の炭化灰化処理等の農外利用を促進してまいります。

【重点施策】

(1) 生産基盤の強化

施設整備等への支援による規模拡大等を進めることで収益性の向上を図るほか、関係団体の皆様と作成しましたブランドデザインに基づき和牛の生産拡大を図ってまいります。

また、肉質に優れたデュロック種系統豚「ローズD-1」を活用した新たなブランド豚肉について本年度内の販売開始を目指して検討を進め、ブランド確立を目指すほか、家畜改良による生産性の向上や水田での飼料用稲の生産及び利用の推進や子実とうもろこし等国産濃厚飼料の利活用に向けた検討を進めるなど、耕畜連携による飼料生産基盤の強化を図ってまいります。

(2) 畜産物流通の促進及び畜産経営の体質強化

「いばらき畜産物ブランドアップ推進プラン」に基づき、本県の銘柄畜産物である「常陸牛」、「ローズポーク」、「奥久慈しゃも」の一層のブランド力強化を図るため、高級感・上質感の醸成を進めるとともに、輸出も含めた更なる販路拡大や重点的なPR等を行うことで、これらの銘柄畜産物を牽引役とした本県畜産物全体の販売促進とイメージアップを進めてまいります。また、HACCP等の高度な衛生基準に対応した食肉センター整備に向けた具体的な検討を進め、本県畜産物の競争力の強化を図ってまいります。さらに、畜産経営安定対策の活用や各種制度資金、リース事業を活用することで、畜産経営の安定化と生産性の向上を図ってまいります。

(3) 家畜衛生対策の充実と安全な畜産物の生産

家畜伝染性疾病の発生やまん延防止を図るため、飼養衛生管理基準の遵守徹底に向けた指導を実施するとともに、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫などの家畜伝染病の万一の発生に備えた危機管理体制を充実します。また、オーエスキー病や牛白血病の清浄化対策並びに動物用医薬品の適正使用を推進するとともに、死亡牛の牛海綿状脳症検査の継続や農場HACCP等の飼養衛生管理手法の導入支援や消費者への飼養管理情報の提供等により、安全・安心な畜産物の生産を支援します。

(4) 畜産環境対策の充実

畜産経営の大規模化や地域的偏在が進んだ結果、地域によっては、堆肥が過剰となっていることから、混合堆肥複合肥料の原料として堆肥の供給促進を図るとともに、輸出など、新たな販売ルートの開拓を支援し、堆肥の広域流通を促進してまいります。また、簡易臭気測定器等を活用した臭気低減対策を強化することで、地域と調和した畜産経営の確立を目指します。

(5) 試験研究の推進と指導体制の充実

第2期中期運営計画に基づき、①ブランド力強化を支える新品種・新技術の開発 ②環境にやさしい資源循環型畜産等を支える技術の開発 ③受精卵移植等の先端技術の開発等を柱とした試験研究を推進するとともに、関係団体や民間、国立研究開発法人研究機関等とも連携しながら生産基盤の強化や畜産環境保全の充実、飼料生産技術の高度化等を推進してまいります。

畜産の国際競争力強化対策

農林水産部畜産課

予算額 284,665千円

収益性向上に向けた畜産経営体の施設整備や和牛繁殖雌牛・乳用雌牛の導入を支援するとともに、常陸牛の輸出促進や豚肉のブランド化、食肉流通合理化等を推進し、本県畜産の国際競争力強化を図ります。

◎畜産クラスター

畜産競争力強化対策事業費【継続】 193,400千円

畜産の生産基盤の強化を図るために必要となる施設整備を支援

<実施主体> 畜産経営体等

<対象事業> 畜舎や家畜排せつ物処理施設、自給飼料関連施設 等

<補助率> 国1/2、事業主体1/2

◎肉用牛関連

和牛受精卵供給事業【継続】 7,977千円

畜産センターに受精卵供給センターを設置し和牛受精卵供給体制を強化

・優良採卵牛の導入(年5頭×4年)による場内採卵と受精卵供給強化

・農家所有牛からの野外採卵による受精卵活用強化

和牛生産基盤強化対策事業費【継続】 12,500千円

肥育農家の一貫経営化や繁殖農家の規模拡大のための繁殖雌牛導入支援

(1)肥育農家への繁殖雌牛の導入支援(5,000千円)

<実施主体> 全農いばらき、県畜産、県家畜商組合

<対象事業> 一貫経営化に取り組む常陸牛指定生産者への支援

<補助率> 定額(100千円/頭)

(2)繁殖農家への繁殖雌牛の導入支援(7,500千円)

<実施主体> 茨城県畜産協会

<対象事業> 規模拡大する繁殖農家への支援

<補助率> 定額(50千円/頭)(ALICの導入支援対策への県上乗せ)

和牛増頭緊急対策推進事業【新規】 8,500千円

繁殖雌牛の増頭と子牛生産拡大を図るため、米平公共育成牧場の維持管理に必要となる施設整備と運営を軌道に乗せるための支援

(1)簡易管理所の整備 (1,500千円)

(2)放牧地における草地の維持(掃除刈り、追肥、追加播種)(5,000千円)

(3)放牧牛の受入、管理業務 (2,000千円)

<実施主体> 茨城県畜産農業協同組合連合会

<対象事業> 入退牧の管理、給餌・給水、放牧地内牧草の維持管理等

<補助率> 定額

◎GAPの推進

畜産GAP導入推進事業【新規】 2,304千円

GAPの取組拡大に向けた推進協議会の開催や指導員の養成、生産者を対象にした研修会の開催等を実施

◎乳用牛関連

家畜生産性向上対策事業費(乳用雌牛導入支援分)【継続】 11,850千円

家族経営を中心とした酪農家への乳用雌牛の導入支援

(1)乳用雌牛の導入支援(10,250千円)

<実施主体> 茨城県酪農業協同組合連合会

<対象事業> 乳用雌牛流通のための体制構築、乳用雌牛導入への補助

①地域内流通マッチング、②県内子牛導入、③妊娠牛導入

<補助率> ①1/2、②定額(50千円/頭)、③定額(100千円/頭)

(2)乳用雌牛の導入支援(1,600千円)

<実施主体> 茨城県酪農業協同組合連合会

<対象事業> 廃業する酪農家の乳用牛を地域内継承するための支援

<補助率> 定額(16千円/頭)(ALICの導入支援対策への県上乗せ)

◎養豚関連

ブランド豚肉生産拡大事業費【継続】 14,762千円

養豚研究所が開発した「ローズD-1」を活用した新ブランド豚肉を確立するため、生産者等が主体となる銘柄推進組織の立ち上げ、試作生産に基づく生産・品質基準の決定、ブランドネームやロゴマークの作成及び販路開拓活動を展開

◎食肉流通合理化

食肉流通合理化促進事業費【継続】 1,000千円

茨城県食肉流通合理化計画に基づき、HACCPに対応した食肉センターの整備に向け、検討委員会等を設置し、基本的な考え方や整備計画を検討

◎輸出対策

常陸牛ブランド支援対策(輸出)【継続】 3,000千円

常陸牛の輸出拡大を図るため、東南アジア等をターゲットにした既存の取引先へのフォローアップ指導や販路開拓のための現地フェア開催、PR等を支援

<事業主体> 茨城県畜産協会

<対象事業> 現地フェアの開催やPR経費等への支援

<補助率> 県1/2、事業主体1/2

IBARAKI海外展開チャレンジ事業【新規】 29,372千円

アメリカの高級レストランにおいて、常陸牛を中心に本県産食材を活用したメニューフェアやトップセールス等の実施、常陸牛の販路拡大活動を展開

新任あいさつ

茨城県畜産センター養豚研究所 所長 堀越 忠泰

この度、養豚研究所長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いします。

畜産を取り巻く状況は担い手の減少やグローバル化の進展など、日々変化しております。

このような変化に的確に対応し、国内外の産地間競争に打ち勝つ「強い畜産業」を実現するため、本県では「茨城農業改革」や「いばらき畜産物ブランドアッププラン」に基づき、様々な取り組みが行われており、養豚においては「ローズD-1」を活用した新ブランド豚肉の確立を重点的に進めることとしております。

当研究所ではこれまでもランドレース種系統豚「ローズL-3」、大ヨークシャー種の維持や種豚の供給を行ってまいりましたが、さらに新ブランド豚肉生産に不可欠なデュロック種系統豚「ローズD-1」の種豚や精液の供給を行ってまいります。

「ローズD-1」は筋肉内脂肪含量を高める能力を有しており、これを種雄豚として用いた

三元豚肉はロース肉に脂肪交雑が入りやすくなります。県ではこの特徴を活かし、新たなブランド豚肉の生産を養豚農家や畜産関係団体と一体で促進することとしております。

このため、当研究所では5月に完成予定のブランド育成センターを活用し「ローズD-1」の維持を行うとともに、新ブランド豚肉生産農家へ種豚と精液を供給してまいります。また、三元豚の肉質をより良くするため、給与飼料の効果を調査してまいります。

種豚や精液の供給業務以外の試験研究についてはエコフィードの活用、飼料コストの削減と併せ、豚の発育や肉質の向上を目的として、飼料用米と豆腐粕の混合サイレーズや発酵魚粉の利用について研究を進めていきたいと考えております。

今後とも、現場のニーズに対応した課題設定等に努め、より良い研究に取り組む所存でございますので、関係各位のご指導ご鞭撻をお願いして、就任のご挨拶といたします。

受精卵供給センターの紹介

茨城県畜産センター

昨年4月に、畜産センターに受精卵供給センターが新設されてから1年が経ちました。畜産センター内で飼養する雌牛から受精卵を採取（採卵）する業務（場内採卵）では、譲渡可能な受精卵が、平成28年度と比較してより多く採卵できました。採取した受精卵については、今年度は6月頃を目処に販売を予定しております。譲渡基準や販売受精卵のリスト及び受付開始時期につきましては、5月末頃畜産センターのホームページやFacebook等でお知らせする予定です。なお、県内の和牛増頭を促進するため、昨年度から「茨城県畜産センター受精卵譲渡基準」を改正し、移植

による産子は自家保留又は県内市場に出荷をする等、譲渡する際の条件を変更しておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。

その他、依頼のあった農家所有雌牛の採卵業務（野外採卵）では、昨年度は延べ54戸の自農場に所有している優秀な雌牛に、能力の高い血統の精液を使用すれば、農家に有益な子牛の増産が可能になります。また、採卵は、成績のよい雌牛でも子育てが出来ない場合や、受胎はするが妊娠が維持できない場合にも利用できます。

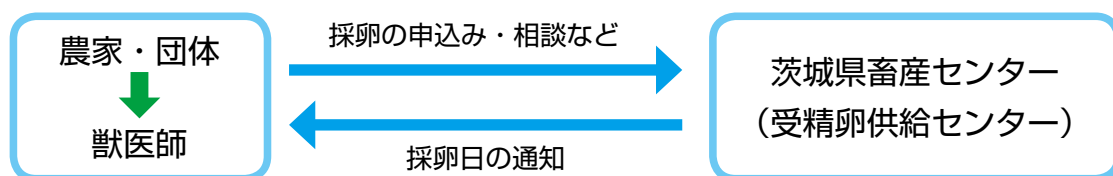
今年度も野外採卵の依頼を随時受け付けておりますので、ご希望の方は受精卵供給センターまでお問い合わせください。

● 野外採卵の申込みの流れ

採卵を希望する牛の発情を確認したら、牛の所有者は団体や獣医師等を通じて畜産センター（受精卵供給センター）までご連絡ください。こちらで採卵までのスケジュールを組んでお返事いたします。

なお、過剰排卵処理に使用するホルモン剤や精液、獣医師の技術料等の経費は負担をお願いいたします。

また、採取した受精卵は依頼者（牛の所有者）の所有となります。



● 受胎率調査について

受精卵移植を活用し、県内の和牛増頭を着実に進めていくため、譲渡した受精卵及び野外採卵で採取した受精卵について、受胎率を含む受

精卵産子に関する調査を行っています。昨年度譲渡した受精卵については、秋頃から調査を開始する予定ですので、ご協力をお願いいたします。

● 導入牛について

昨年11月に2頭、今年1月に3頭の優良な雌子牛を県内外から導入しました。



ひでこ

H28.12.25生、宮崎県児湯市場から導入



ことね2

H29.1.20生、茨城県大宮市場から導入



みちふく36

H29.2.2生、宮崎県児湯市場から導入



ふぁみりあ4

H29.3.2生、宮崎県児湯市場から導入



みつこ

H29.4.9生、茨城県大宮市場から導入

● 導入牛の血統

名号	系統	父	母の父	祖母の父
ことね2	藤良系	美国桜	勝忠平	福栄
ひでこ	気高系	耕富士	美穂国	忠富士
ふぁみりあ4	気高系	耕富士	梅福6	勝平正
みちふく36	気高系	耕富士	菊福秀	金幸
みつこ	田尻系	光平照	百合茂	安平

今年度も引き続き県内外から計5頭を導入し、さらに優良供卵牛の充実に努めるなど、受精卵供給体制の強化を図ってまいります。

● お問い合わせ

茨城県畜産センター（受精卵供給センター）

〒315-0132 石岡市根小屋1234

TEL (0299) 43-3333 FAX (0299) 43-6392

牛乳・ちびっ子野球 イコールマッチング

茨城県牛乳普及協会 事務局長 市 村 章

茨城県牛乳普及協会が昭和54年8月設立以来、毎年継続して開催している事業は・牛乳乳製品フェア（・ミルクフェアいばらき・ミルクメッセいばらき・ちくさんフードコレクション等）・牛乳乳製品利用料理コンクール・「やっぱ牛乳でしょ」ポスターコンクール・夏休み親子ミルクスクールであり、その他各種事業として・牛乳シンポジウム・ミルクの集い・牛乳市民講座・出前ミルク教室等であって、その他・県産牛乳消費拡大緊急対策事業としての「ミルク大使」（平成22年度から3年間実施）・茨城県あなたのそばのミルクスタンド事業（平成22年3月8日オープン以来継続して運営）・Jミルクが定めた牛乳の日：平成19年6月1日、6月を「牛乳月間」そして「牛乳の日」として県知事への表敬訪問：以来毎年実施。その他には、スポーツ大会冠協賛として・「さわやかミルク杯」：茨城県ジュニアユースサッカー選手権大会があり・のび伸び牛乳杯（ミルクカップ）：茨城県ちびっ子野球選手権大会があります。

これ等スポーツ大会冠協賛は、子供達への体力向上に牛乳飲用の促進を図ることを目的に協賛しております。



今般は、標題のとおり、既に10年連続して特別協賛してきた冠名「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）：茨城県ちびっ子野球選手権大会冊子（あいさつ文）から振り返り、その活動内容を報告させていただきます。

茨城県牛乳普及協会が初めて「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）：茨城県ちびっ子野球選手権大会に特別協賛したのが平成19年の第28回大会からであり、某食品メーカーの後を引き継いで冠名を「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）のネーミングとして特別協賛したのが始まりであります。

このネーミングは、県内5ブロックを勝ち抜いた48チームの野球少年達が夏の青空の下、牛乳をたくさん飲んで「のび伸び」プレーすることで、この大会を通して得る経験が今後において貴重な経験となり人間性を育み心身共に伸張がはかれる期待を持っての言葉として「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）と茨城県牛乳普及協会大槻会長が名付けたものであります。

毎年の開会式では、代表48チームの選手達と父兄の方々約数百名に対し、牛乳の提供と販売を行っております。

その時のゴクッと飲み干しての「おいしい」「おいしい」の言葉が忘れられません。本当に特別協賛して良かったと思っておりますし、良い牛乳のPRができたと思っております。

ちびっ子野球選手権大会冊子（あいさつ文）には、様々なことを文言に加えて毎回、牛乳・乳製品のPRをさせていただきました。

それは・「食育」からの「食育基本法」のこと・ピークボーンマスのこと・「ミルスタ」オープンのこと・東日本大震災のお見舞いのこと・MILK JAPANのこと・「ミルク大使」のこと・ミルクサプライチェーンのこと・ワールドディリーサミットのこと・牛乳の伝来のこと・水戸黄門と牛乳のこと・牛乳の日、牛乳月間のこと・乳牛の生態のこと・機能性ヨーグルトのこと等、大会冊子（あいさつ文）を以て牛乳のPRをさせて

いただきました。

よって、牛乳・ちびっ子野球 イコールマッチングであります。

特別協賛して10年。第28回（第1回）大会で出場された選手の子供達も、もう社会人や学校での野球部員として活躍されているものと思われます。

本年度も第38回（特別協賛して11回目）「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）：茨城県ちびっ子野球選手権大会がやってきます。ミルクパワーで一球入魂！です。

本年度は、ちびっ子野球選手権大会冊子（あいさつ文）に、本年10月に第1回ヨーグルトサミットが小美玉市で開催されることや、「牛乳は

生きている」：牛乳の特性を紹介する等、そして、人口減少が続く中、高齢者へのロコモティブシンドローム：運動器障害症候群への有用性、県産牛乳使用100%のロゴマーク「茨ちち」のアピールを加えて記載し、イベント開催情報を含めて牛乳のPRに努めてまいります。

尚、本年度第38回「のび伸び牛乳杯」（ミルクカップ）：茨城県ちびっ子野球選手権大会（主催：茨城新聞社、協賛：茨城県牛乳普及協会）は、5月から5ブロックで予選会が始まり、各ブロック代表チームによる開会式は8月18日（土）に開催され、決勝戦は9月1日（土）の予定で那珂総合公園野球場他を会場として行われます。

平成31年度

茨城県立農業大学校入学生募集

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

募集人員等

区分	学科名	募集人員	受験資格	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	高校等を卒業した者又は平成31年3月に卒業若しくは修了見込みの者	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名		2年	畜産
	園芸学科	30名		2年	施設野菜・花き
研究科		10名	農業大学校卒又は短大等卒以上若しくは卒業見込みの者	2年	作物・園芸・畜産

願書受付・入学試験

試験区分		願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)		平成30年10月1日（月） ～10月19日（金）	平成30年10月31日（水）	小論文 口述試験（個別面接） 調査書等
一般入試 (各学科)	前期	平成30年11月12日（月） ～12月7日（金）	平成30年12月13日（木）	筆記試験 口述試験（個別面接） 調査書等
	後期	平成31年2月4日（月） ～2月22日（金）	平成31年3月5日（火）	
研究科 一般入試		平成30年11月12日（月） ～12月7日（金）	平成30年12月13日（木）	筆記試験 口述試験（個別面接） 調査書等

授業料等

- ・入学試験手数料（2,200円）、入学料（5,650円）、授業料（年118,800円）、教材費他
- ・学科1年生は全寮制（家賃は無料、1人食費月額約30,000円他）、学科2年生及び研究科は希望入寮制

問い合わせ先

〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡4070-186

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL029-292-0010

農大ホームページ

農業総合センター農業大学校／茨城県

検索

平成30年3月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
7	一般子豚	9	27,648	27,648	27,648	50
	ベビー豚	248	25,272	7,884	20,598	35
20	一般子豚	16	27,972	22,464	25,907	50
	ベビー豚	199	24,840	3,564	21,306	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	64	911,520	417,960	631,159	284	2,225
		♂	1	699,840	699,840	699,840	200	3,499
		去計	73	1,157,760	413,640	817,516	309	2,645
	F1	♀	138	1,157,760	413,640	730,237	297	2,463
		経産	5	435,240	43,200	271,080	—	—
		去計	9	345,600	278,640	321,240	284	1,130
		去計	25	466,560	411,480	441,288	311	1,421
			34	466,560	278,640	409,511	304	1,349

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
9	入場頭数	6	0	0	4	0	12	3	13
	成立頭数	5			2		6	3	6
	最高(円)	72,360			55,080		76,680	56,160	58,320
	最低(円)	48,600			49,680		36,720	54,000	55,080
	平均(円)	63,288			52,380		57,060	55,080	55,980

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	29	753,840	398,520	584,466	270	2,163
		♂	0					
		去計	51	1,104,840	124,200	763,327	284	2,686
			80	1,104,840	124,200	698,490	279	2,503

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)						屠畜頭数	
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	13,843.0	79.1	456	427	405	369	354	399	26,605	616.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	188								
	B	29	226	467.6	2,759	2,423	2,159	1,209	—	2,398
	C	9			—	—	—	649	484	
乳牛	A	—			—	—	—	—	—	
	B	5	139	326.1	—	—	—	670	—	480
	C	134			—	—	—	550	400	
交雑牛	A	9			1,950	1,631	1,480	—	—	
	B	100	131	501.7	—	1,643	1,436	1,110	—	1,412
	C	22			—	1,539	1,346	938	—	

3月の市況は3月集計数値を4月上旬に掲載します。

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			1, 5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	6	275,400	22,680	92,340
		♂	150	209,520	6,480	153,043
		去計	1	139,320	139,320	139,320
	子牛	♀	157	275,400	6,480	150,636
		♂	3	280,800	37,800	191,880
		去計	0			
F1	スモール	♀	3	280,800	37,800	191,880
		♂	0			
		去計	3	280,800	37,800	191,880
	子牛	♀	70	248,400	110,160	185,112
		♂	92	345,600	86,400	266,783
		去計	0			
黒毛和種	スモール	♀	162	345,600	86,400	231,493
		♂	2	248,400	237,600	243,000
		去計	0			
	子牛	♀	16	455,760	455,760	455,760
		♂	18	455,760	237,600	432,120
		去計	0			
	3歳以上	♀	1	270,000	270,000	270,000
		♂	1	390,960	390,960	390,960
		去計	2	390,960	270,000	330,480
	子牛	♀	9	571,320	446,040	501,600
		♂	10	572,400	400,680	475,632
		去計	0			
	3歳以上	♀	19	572,400	400,680	487,933
		♂	9	455,760	214,920	337,320
		去計	0			
		去計	9	455,760	214,920	337,320

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成29年度第4四半期(平成30年1～3月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	339,000	309,000	221,000	136,000	210,000
合理化目標価格	282,000	259,000	150,000	93,000	152,000
平均売買価格	782,000	609,100	252,000	262,700	394,500
補給金単価	—	—	—	—	—

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	339,000	309,000	221,000
平均売買価格	782,000	609,200	252,000
発動基準	460,000	420,000	300,000
支援交付金単価	—	—	36,000

平成30年4月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
4	一般子豚	0				50
	ベビー豚	257	28,620	18,576	24,918	35
18	一般子豚	30	20,520	19,332	19,764	50
	ベビー豚	328	25,920	2,376	19,846	35

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	12,887.0	80.7	490	476	455	418	386	443	25,371	845.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 266	294	497.5	2,807	2,442	2,027	1,101	—	2,522	
	B 27			2,321	2,137	1,600	869	554		
	C 1			—	—	—	—	379		
乳牛	A —	148	323.8	—	—	—	—	—	473	
	B 12			—	—	—	622	486		
	C 136			—	—	—	554	380		
交雑牛	A 16	126	517.8	2,049	1,686	1,330	1,289	—	1,490	
	B 97			—	1,687	1,482	1,118	—		
	C 13			—	1,573	1,234	861	—		

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	53	1,000,080	540,000	681,419	288	2,363
		♂	0					
		去計	70	1,065,960	558,360	816,711	310	2,634
	F1	経産	123	1,065,960	540,000	758,415	301	2,522
		♀	10	906,120	73,440	401,652		
		去計	11	376,920	329,400	345,796	323	1,070
			22	491,400	400,680	455,073	322	1,413
			33	491,400	329,400	418,647	322	1,299

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀	開催なし					
		♂						
		去計						

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	4	267,840	81,000	174,690
		♂	135	225,720	61,560	176,376
		去計	0			
子牛	子牛	♀	139	267,840	61,560	176,327
		♂	5	421,200	264,600	317,304
		去計	0			
F1	スモール	♀	5	421,200	264,600	317,304
		♂	73	288,360	21,600	213,396
		去計	63	355,320	216,000	299,451
子牛	子牛	♀	0			
		♂	136	355,320	21,600	253,260
		去計	0			
黒毛和牛	子牛	♀	1	248,400	248,400	248,400
		♂	0			
		去計	1	248,400	248,400	248,400
3歳以上	3歳以上	♀	0			
		♂	1	507,600	507,600	507,600
		去計	1	583,200	583,200	583,200
		♀	2	583,200	507,600	545,400
		♂	5	314,280	248,400	273,024
		去計	0			
			5	314,280	248,400	273,024

新マルキン発動状況

(円)

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成30年3月	確定単価	—	84,600	28,500
平成30年2月	確定単価	—	72,300	31,700
	概算払単価	—	68,300	27,700
平成30年1月	確定単価	1,900	50,100	29,000
	概算払単価	—	46,100	25,000

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

農家のみなさんへ 貸したい農地ありませんか？



農地を貸したい

- 規模縮小
 - 経営転換
 - 農地相続
- でお困りの方。

貸付

**農地集積
バンク**

茨城県農地
中間管理機構

貸付
(転賃)



農地を借りたい

- 規模拡大
 - 新規参入
- をお考えの方。

農地中間管理事業のメリット措置 交付要件を満たした場合、次のような支援が受けられます。

平成30年が
最終年！

地域集積協力金

地域で機構にまとまった農地を貸し付けた場合

交付単価 **10,000円/10a**

経営転換協力金

機構へ全ての自作地を貸し付けた農業者等

交付単価 **10,000円/10a**

耕作者集積協力金

要件にあった農地を機構に貸し付けた場合

交付単価 **5,000円/10a**

最寄りの市町村（農政担当）または、茨城県農地中間管理機構まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

茨城県農地中間管理機構 ☎ **029-239-7131**

（公益社団法人茨城県農林振興公社）

茨城県水戸市上国井町3118-1

■ ホームページ <http://ibanourin.or.jp/nourin/kanri/>

茨城県農林振興公社

検索



県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 角 田 芳 夫

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL / 029 (292) 6 8 1 1 (代)

FAX / 029 (292) 6 8 9 5

H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉（日曜・祭日等を除く毎日）
牛枝肉（毎週月・木曜日）

茨城県が誇る、霜降り牛肉

常陸牛

ひたちなか市



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局

〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950

全国農業協同組合連合会 茨城県本部内

TEL / 029 - 292 - 8004

FAX / 029 - 292 - 7743

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1

TEL / 0296-43-1661

FAX / 0296-43-6509

フリーアクセスFAX / 0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>